

シラバス詳細照会

授業情報

開講年度	2021 年度	開講箇所	基幹理工学部		
科目名	身体論				
担当教員	廖 赤陽				
学期曜日時限	秋学期 月4時限				
科目区分	基礎科目 選択必修	配当年次	1年以上	単位数	2
使用教室		キャンパス	西早稲田(旧大久保)		
科目キー	2600005052	科目クラスコード	01		
授業で使用する言語	日本語				
授業方法区分	リアルタイム配信				
コース・コード	CMFM15ZL				
大分野名称	複合領域				
中分野名称	人間(心理学/哲学/身体論/健康/セラピー)				
小分野名称	心身論				
レベル	初級レベル(入門・導入)	授業形態	講義		

シラバス情報

最終更新日時:2021/02/22 13:03:09

副題	「気」になる東洋の心身実践とその思想
授業概要	<p>この授業は、気思想と気功養生、中医（東洋医学）、武術太極拳、禅修行、風水学、絵画・音楽などを通して、東洋の伝統的な心身論の実践とその技法を紹介し、さらに、これを通して、東洋のホリスティックの思想とその理論モデルである陰陽・五行などを学び、東洋の生命観・宇宙観に対する理解の扉を開けようとするものである。</p> <p>授業の科目名は、正確にいうと、「身体論」ではなく「心身論」である。なぜならば、西洋の伝統の身体観は、心的なものと身体的なものをはっきり分けて考える傾向が強いと指摘されているが、これに対し、東洋においては身体論そのものが存在せず、あくまでも心と体を分けてはならない統一体としてとらえており、しかも心身の相互関係においては、心が主導的な役割を果たしているとみている。そして、このような個の心身関係は、一つのマイクロ・システムを構成し、さらに、個人—社会—自然というマクロ・システムの一環に組み込まれたものであると考えられている。このように、東洋と西洋の対比は、単に一元論か二元論かのような哲学的な見地の違いによるものにとどまらず、なによりも東洋の「ホリスティック」的な方法論と「還元論」・「分析論」に基づく近代・西洋的な科学方法論というアプローチの違いが示されている。</p> <p>今回のコロナだけではなく、現代社会における人々の心身関係の緊張、理性と感性の乖離、人間と自然環境の対峙などは、いずれも複雑性を極めた総合的な問題であり、これらの問題の解決に向かって、コンプレックス・システム及びコンプレクシティ・サイエンスのようなアプローチはますます重要になり、ゆえに、ホリスティック的な東洋の伝統に知恵を求めることも欠かさない。従って、この授業は「近代」・「西洋」という普遍的なスタンダードの相対化を図り、科学との対話を試みながら、より柔軟かつ多様な角度から世界を見る視点を提供したいと考えている。なお、基本的に座学を中心とする授業であるが、授業中、心身実践の技法も取り入れてボディワークを行い、理屈と頭だけではなく、内なる心身の実体験も重視する。</p> <p>古典的な哲学、文学、演劇学、歴史学、宗教学を扱う科目のほか、現代社会を知るための異文化理解および世界各地を扱う科目の履修を通じて、理工系学生の専門教育・職業を支える幅広い教養を身につける。人文・社会科学系の学問の素養を身につけるための基礎科目、現代社会の重要な課題を総合的に把握する総合科目の習得を通して、学生が創造的思考を養成することを目指す。</p>
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.東洋伝統の心身実践とその思想を学び、ホリスティック的な方法論に対する理解を深める。 2.「近代」・「西洋」の相対化を図り、科学との対話を試みながら、より柔軟かつ多様な角度から世界を観察する視点を養う。

	3.東洋伝統の心身実践の技法を通して、自らの「いのち」に対する認識を深め、心身の不調やストレスの改善・解消などによる健康レベルの向上を図る。
事前・事後学習の内容	各自在宅で、授業で紹介された気功などの東洋伝統の心身実践の技法を自主練習し、心身の健康レベルの向上とともに、東洋の思想を内なる心身実践を通して体得する。
授業計画	<p>第1回. オリエンテーション</p> <p>第2回. 気になる「気」：とりあえず味わってみよう</p> <p>第3回. 気功とは何か：体操・呼吸・精神の三つのサポート</p> <p>第4回. 人体の三つの宝物：精・気・神</p> <p>第5回. いのちのエネルギーと情報ネットワーク：経絡とツボ</p> <p>第6回. 体内の驚異なる風景：内景図と内丹術</p> <p>第7回. こころが変わればすべてが変わるか：気功の意識論</p> <p>第8回. 二千年も前の漢方は新型コロナを治せるか：中医学から見た人体と病気</p> <p>第9回. パソコンの元祖か：易と陰陽八卦</p> <p>第10回. 年寄りののんびり体操か：太極拳と太極の摂理</p> <p>第11回. ウサギが増えすぎたらどうすればよいか：五行の理論</p> <p>第12回. 風水はインチキか：身体の宇宙性と宇宙の身体性</p> <p>第13回. 山水画の神秘：絵画の中の風水と身体</p> <p>第14回. 身体と天地の交響曲：五行音楽と日本語の再発見</p> <p>第15回. まとめを兼ねて：何を以て科学と非科学をいうか</p> <p>各回の授業は、原則としてオンライン・リアルタイム配信方式で行う。場合によっては、一部の授業はオンデマンド配信方式も併用する。なお、新方コロナの状況推移によって、大学側から、対面授業を実施する指示が出された場合は、これに従う。</p>
教科書	特に指定なし
参考文献	<p>一. 著書</p> <p>廖赤虹・廖赤陽『気功—その思想と実践』増補版、春秋社、2012年。</p>

	<p>廖赤陽『気功で読み解く老子』春秋社、2009年。 廖赤陽・廖萃萃『実践中国気功法』春秋社、2019年再版。 廖赤陽『老子与気功——心身実践的中華文化』（中国語）上海科学技術出版社、2017年。</p> <p>二. 論文</p> <p>廖赤陽「東亞語境與内證體驗中的近代性構築與批判——蔣維喬與岡田式靜坐法」、『思與言』59卷1期、2021.3。</p> <p>廖赤陽「性命双修、自利利他——読白隠禅師『夜船閑話』」、世界医学気功学会第五届理事会第二次会議暨第八届学術交流会議論文集、2014.6。</p> <p>廖赤陽「略論日本『気功』養生の歴史与現状」、世界医学気功学会第四届理事会第二次擴大会议論文集、2007.12。</p> <p>廖赤陽「気功的『日本化』——課題与挑戦」、世界医学気功学会第五届医学気功学会會員代表会議暨第七届学術交流会議論文、2012.6。</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>試験なし 0% 平常点 出席もかねて、各回ごと小課題を出す 70% 期末小レポート 30点</p>
<p>備考・関連 URL</p>	<p>授業計画は、進行状況および諸般の状況により、一部変更する場合があります。 関連 URL https://muikiko.com/</p>